

取扱説明書



エアーラチェット インパクトタイプ

注文コード：58285493

このたびは、エアーラチェット インパクトタイプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。



警告

この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。



注意

この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の保障、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。



警告

- 使用前に点検を行ってから使用してください。
- 本製品は自動車などの整備、一般製品・部品の分解・組立時のねじの脱着作業のみに使用してください。
- 適切な空気圧で(0.62MPa 以下)で使用してください。指定空気圧以上で使用すると、摩損が早まり、製品の破損・事故の原因になります。圧力計や減圧弁等を併用し、必ず適切な空気圧で使用してください。
- 動力源は、エアーコンプレッサーによる圧縮空気です。エアーコンプレッサー以外の動力源を使用すると爆発の危険があります。
- 安全性、最高性能、部品の最大耐久性を維持するために、使用ホース径に記載してあるエアーホースを使用してください。
エアーホースはゴミの混入に注意し、取付けてください。確実に取付けないと、エアーホースが外れ、エアー噴出によりエアーホースが暴れる危険があります。
- 作業場所は整頓し、十分な日光か照明が当たるようにしてください。作業台の上には対象物以外は置かないでください。散らかった作業台や暗い場所での作業は事故を招きます。
- エアーツールのエアー供給に爆発の可能性がある酸素や可燃性ガスを使用しないでください。火花で引火して火事や爆発を起こす危険性があります。
- 引火性液体、洗浄溶剤、保管ガスがあるなど、爆発の可能性がある環境では使用しないでください。
- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 適切な作業服を着用し作業してください。可動部に手や布などを近づけないでください。
- 必要に応じて作業保護具(ヘルメット、耳栓、保護メガネ、マスク、手袋、安全靴)を着用し作業してください。作業位置が80dB(A) 以上になる場合は、必ず耳栓を使用してください。
- 加工物が動かないように確実に固定してから作業してください。加工物が飛び散るなど作業者が怪我をするおそれがあり危険です。
- ホース接続時は作動レバーが停止位置になっていることを確認してください。
- 先端工具が外れて飛んでしまいケガをするおそれや、故障の原因になりますので、無負荷で動作をさせないでください。
- 作業中は反動や跳ね返りに備え、しっかり保持し、安全な姿勢を保ってください。
- 高所作業では作業中に落下することが絶対にないように注意してください。
- 電気絶縁性はありません。感電のおそれがある場合は、絶対に使用しないでください。
- 異常や危険を感じた場合は、ただちにエアー供給を止め、使用を中止し点検や修理を行ってください。



注意

- 使用する前に、エアー供給部が正しく接続されていることを確認してください。必ず連結部をソケットにはめ込んでからエアーツールを操作してください。
- 作業は十分注意をして行ってください。
- 過負荷での無理な使用はエアーツールの破損や故障の原因になりますので、おやめください。
- 作業関係者以外は触らせないでください。
- 投げたり落としたりしないように注意してください。
- 停電した時は、作動レバーから指を離してください。
- 狭いスペースで作業しないでください。作業をしているときは、エアーツールと加工物の間に手が挟まらないように注意してください。
- 長時間作業しないでください。また作業中、手、腕、肩、首など身体の一部に不快感や疲労を感じた場合は、姿勢を変えたり休憩してください。
- 切傷、火傷、振動によるケガを招くおそれがありますので、作業中に先端工具やアタッチメントに触らないでください。
- 使用によって床がオイルで滑りやすくなったりエアーラインや油圧ホースによるつまずきに注意してください。
- 排気を人に向けないでください。
- エアーホースの跳ねに注意してください。
- エアーホースの破損は事故の原因になりますので、丁寧に取扱ってください。
- 回転方向を必ず確認してください。回転方向の切り替えは必ず停止した状態で行ってください。
- ソケットはボルト・ナットなどに確実に挿入してから使用してください。外れると非常に危険です。

2 各部の名称



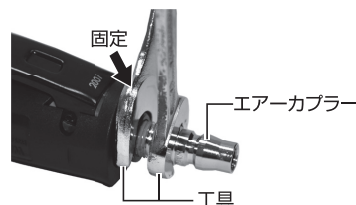
3 カブラーの取付け

- エアーツール本体のエアーカブラー取付け部のナット部を工具で固定して、エアーカブラー(付属品)を取付ける。



注意

- エアーカブラー取付け部のナット部を固定せずに、エアーカブラーを取付けると本体の破損の原因になります。

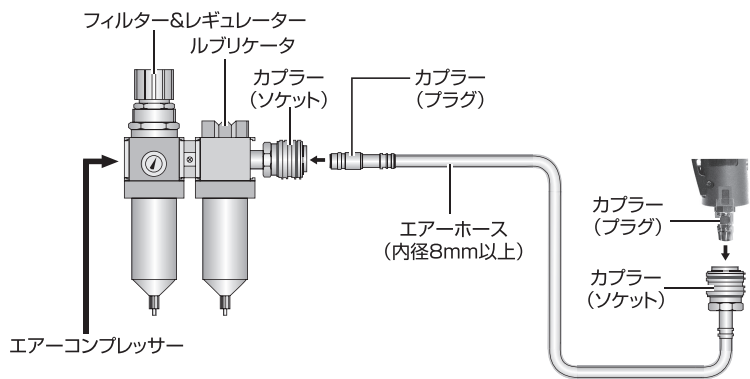


4 配管

清浄で潤滑されたエア供給を適正な圧力で行うために、エアフィルター、レギュレータ、ルブリケーター(FRL)は、図のとおりに接続してください。これらの装置の詳細は装置の製造業者にお問合せください。装置を使用しない時に給油するには、エア供給を停止し、エアを排出減圧した後、エアラインの接続を外して、吸気口に小さじ1杯(5mL)の潤滑油を注ぎます。その際、防錆剤を混ぜると効果的です。

⚠ 注意

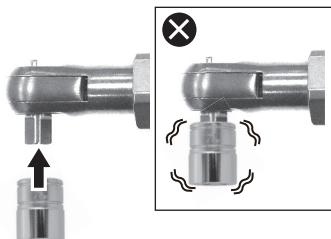
- 適時に潤滑油を給油してください。給油を行わないと、錆や摩耗により作動不良などの原因になります。



5 使いかた

■ 先端工具を取付ける

- 先端工具をエアーツールのドライブ角に取付ける。
- 先端工具を取付けた後に軽く引っ張り、抜けないことを確認する。



⚠ 注意

- エア供給を停止して、エアースホースを外してから取付けを行ってください。
- 先端工具は必ず動力工具用のものを使用してください。動力工具用以外のものを使用すると破損して飛び散ることによりケガをするおそれがあります。

■ エアースホースを接続する

- エアースホースをエアーツール本体に接続します。

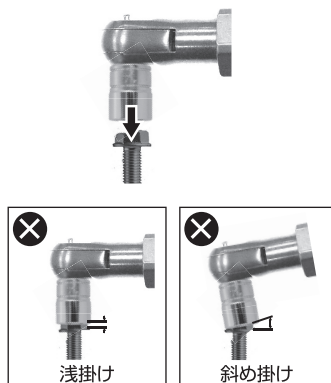


⚠ 注意

- 使用空気圧は、0.62MPaを超えないようにしてください。指定空気圧以上で使用すると、摩損が早まり、製品の破損・事故の原因になります。

■ ボルト、ナットにセットする

- ソケットをボルト、ナットに対して斜め掛けや浅掛けをしないよう、完全に奥まで差し込む。

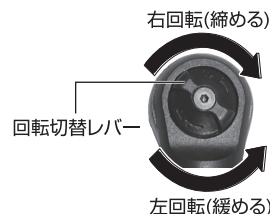


⚠ 注意

- 斜め掛けや浅掛けはボルト、ナットの歪みなどのおそれがあります。また、エアーツールの使用時は速い速度で工具が回転するため、斜め掛けや浅掛けは工具が不意に外れる原因にもなります。

■ ボルト、ナットを締める

- 回転切替レバーを右回転(正転)に設定する。
- 作動レバーを握るとエアが供給され、回転部が作動する。
- 回転が停止したら、作動レバーを離す。

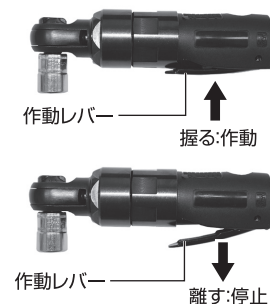


⚠ 注意

- エアーツール本体で締め付け後は、必ず手で増し締め、またはトルクレンチで規定トルクで締め付けてください。

■ ボルト、ナットを緩める

- 回転切替レバーを左回転(逆転)に設定する。
- 作動レバーを握るとエアが供給され、回転部が作動する。



⚠ 注意

- ボルト、ナットが緩まない時は、エアーツールを作動し続けしないでください。手で緩めた後に、エアーツールを使用してください。製品の破損・事故の原因になります。

■ 給油方法

- 使用前と使用後にエアーツール本体の空気接続口よりオイルを2~3滴注入してください。
- エアースホースを接続して、3~5秒間空作動をしてエアーツール本体にオイルを循環させてください。



⚠ 注意

- オイルを入れ過ぎると、排気口からオイルが噴出します。本体をタオルで覆い、人や物から離して作動させてください。
- 圧縮空気中には、水分が含まれています。そのため、長時間使用せず放置すると、本体内部に錆が発生し作動できなくなる場合がありますので、使用後は必ず給油を行ってください。

仕様

最大トルク(N・m)	47	空気接続口	PT1/4
無負荷回転数(min ⁻¹)	500	排気方式	後方排気
空気消費量(L/min)	68	寸法(mm)	長さ 160 × 幅 35.3
使用空気圧(MPa)	0.62	質量(g)	650
ドライブ角(mm)	9.5	付属品	エアカプラー (PT1/4)

※ 仕様は、予告なしに変更することがあります。